

3 営繕

基本方針

公共建築物が、豊かで安心できる暮らしを支える府民共有の資産となるよう、長期的な視点に立ち、安全で使いやすく、時代や利用者のニーズを捉えた、良質な施設づくりを進めています。また、近年、公共建築物のストックが増加し、老朽化も進行していることから、効率的な維持管理のできる改修計画や、世界的な課題である地球環境保全のため、環境負荷の低減対策も推進しています。

① 安心・安全な施設づくり

災害に強く、安心して利用できる公共建築物の整備を推進します。

② 環境に配慮した施設づくり

京都議定書発足の地として、地球環境保全に公共建築物の分野から貢献します。

③ すべての人が使いやすい施設づくり

全ての人が円滑で快適に利用できる施設づくりを推進します。

④ 地域社会に寄与する施設づくり

地域の特色や創意工夫を生かした整備を行います。

⑤ 良質な建築物づくりと生産性の向上

公共建築物の品質確保を図るとともに、ICT技術の活用等を推進します。

⑥ 計画的・効率的な維持保全

安心安全、環境負荷低減の観点からも公共建築物の適切な維持保全を進めます。

令和8年度主要事業の概要

1 重点支援事業

(1) 宇治警察署建替工事

- 老朽化や狭隘が著しい庁舎を、地域の安全・安心の中核拠点に相応しく、機能を充実させたものにするため、現地建替えによる施設整備を行います。

(2) 舞鶴警察署建替工事

- 建物の老朽化・耐震性能不足及び2庁舎運用による警察機能の分散化を解消し、地域の安全・安心の中核拠点に相応しく、機能を集約させた庁舎の建替整備を行います。



(1) 宇治警察署建替工事 完成予想図

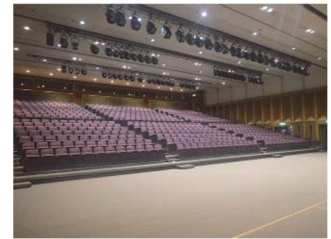


(2) 舞鶴警察署建替工事 完成予想図

2 営繕事業の取組

(1) 安心・安全な施設づくり

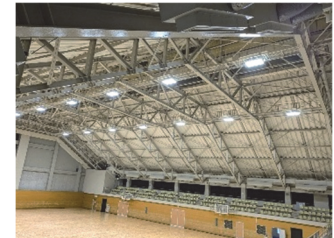
- 災害時に防災拠点となる施設等を中心に、耐震性の確保を図るとともに、非常時における防災機能を確保します。
 - ・耐震対策の推進
 - ・BCP 対策を踏まえた施設整備
 - ・老朽化した部材・設備の更新



(1) 京都テルサ(特定天井改修)

(2) 環境に配慮した施設づくり

- 省エネルギー・省資源、温室効果ガスの排出量削減、脱炭素化、長寿命化、エコマテリアルの使用等、地球環境に優しい施設づくりを推進します。
 - ・省エネルギー機器使用の推進
 - ・環境配慮型資材への転換

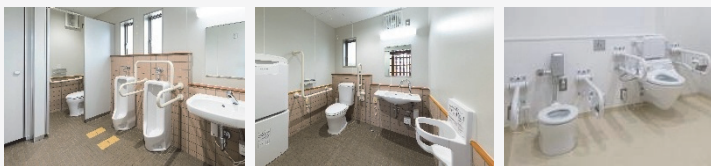


(2) 伏見港公園体育館
(照明 LED 化改修)

(3) すべての人が使いやすい施設づくり

- ユニバーサルデザインを指向した施設整備を推進します。
 - ・誰もが利用しやすいトイレの設置
府民が利用する施設には、車椅子の方や子どもたちも利用しやすいトイレを設置しています。
 - 都市公園内、浄化センター内トイレ 他

※施設の用途等に合わせた、乳児用いす、おむつ換え台、車いす使用者便器(大人用、小児用)、小児用小便器、オストメイト対応トイレ設備など



(3) 山城総合運動公園トイレ

(4) 地域社会に寄与する施設づくり

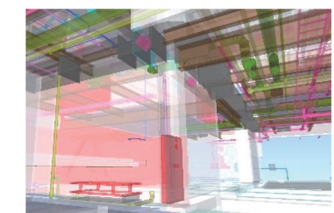
- 地域の特色を生かした施設づくりを推進します。
 - ・地域の特色や景観に配慮した設計
 - ・地域産木材の積極的活用



(4) 洛南浄化センタートイレ
(地域産木材活用)

(5) 良質な建築物づくりと生産性の向上

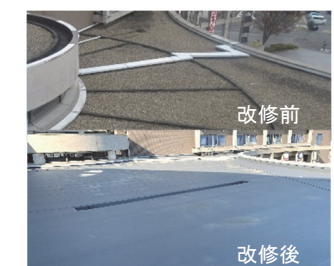
- 適正な設計、工事監理、検査を行い、公共建築物の品質確保を図るとともに ICT 技術の活用等により生産性を向上させます。
 - ・ASP(工事情報共有システム)の活用を推進
 - ・工事現場における電子小黑板、WEB 会議、及び遠隔臨場の活用
 - ・原則、新築 3,000 m²以上の案件を対象とし、BIM 施行要領を策定



(5) 宇治署 BIM 活用

(6) 計画的・効率的な維持保全

- ストックの長期的な耐用性を確保するため、維持保全のマネジメントサイクルを考慮した設計を行うとともに、将来を見据えた改修を進めます。
 - ・LCC(建築物の生涯コスト)を考慮した設計、維持保全
 - ・予防保全の視点に立った改修・設備更新



(6) けいはんなプラザ
(防水改修)